白昼の植林地に現れたニホンジカ 写真①



まったところでは、本来、 ある森林にまで被害が及んでいるので ニホンジカの急増により、 も知られているところですが、近年の つが、ニホンジカ(写真①)による森林被 では困ったことも起きています。その一 ニホンジカによる農業被害は、一般に 緑豊かな日本の森林、しかし、 彼らの住処で 生息密度が高 その中

になってしまったところも見られます。 るはずの木々が疎らになり、 です(写真②)。本来なら生えそろってい 代表的なものが、植林地における被害 中には草地

植林地の被害の特長です。 渡り被害を受けるのもニホンジカによる あります。幼齢木から壮齢木まで長期に とができたとしても、 できます(写真③)。何とか生き延びるこ れ、無残な姿になった苗木を見ることが 近くに行くと、 ひどいものは枯れてしまうことも 繰り返し枝葉を食害さ 今度は樹皮を摂食

が相当進んだ林でも、一見しただけでは、 付くことが難しいかもしれません。食害 天然林では、植林地に比べると被害に気 もちろん、被害は天然林にも及びます。



ニホンジカの食害を受けた植林地 近景 写真③



ニホンジカの食害が進行した天然林 写真④

まいます(写真④)。 林内が見通せる気持ち良い林に見えてし

あることや、林床の植生がほとんど消失 していることに気付きます。 の口が届く高さ)まで枝葉がないためで 林内を見通せるのは、 しかし、注意深く観察すると、奥まで 一定の高さ(シカ

ウブ等)あるいは、嫌いな樹種(アセビ 力が好む樹種(アオキ、イヌツゲ、リョ づらくなります。そんな時は、ニホンジ シキミ、クサギ等)に注目し、 食害がまだ軽度な場合は、もっと判り 林内を観

> 驚かされることでしょう。 ホンジカの生息域が拡大していることに 然さに気付くとともに、足跡やフンなど 察してみてください。好きな樹種は、早 の痕跡も見つかり、思わぬところまでこ べ残され群落を形成していきます。こう に食べられて衰退し、嫌いな樹種は、 した視点で観察することで、植生の不自

「ニホンジカの森林被害を知る」

岐阜県立森林文化アカデミー 教授●伊佐治

彰祥

場で加害個体の数を減らさなければ問題 ると思います。 捕獲対策を相当層強化していく必要があ は、守りの対策とともに、 の根本的な解決には繋がりません。今後 等による守りの対策が主に行われていま 防護ネット、ツリーシェルター、 容易なことでなく、そもそも、 す。しかし、広い森林を守りきることは 現在、ニホンジカの森林被害対策は 攻めの対策= 被害の現 忌避剤

きるのか? 狩猟者の高齢化も進むな とは、やはり容易なことではなさそうで セスの悪い森林での担い手を確保するこ か、身近な農地周辺ならともかく、 では、その担い手を確保することはで アク

はできないのでしょうか。 ジを有する林業関係者自らが、中核的担 い手となって捕獲対策を進めていくこと キャッチフレーズは、既に考えてあり ならば、森林での活動にアドバンテー

いかがなものでしょう? 「獲ることで、 狩猟技術は、林業技術者の必須スキル 守れる森林がある~

詳しい内容を知りたい方は TEL (0575) 35-2525 県立森林文化アカデミー まで